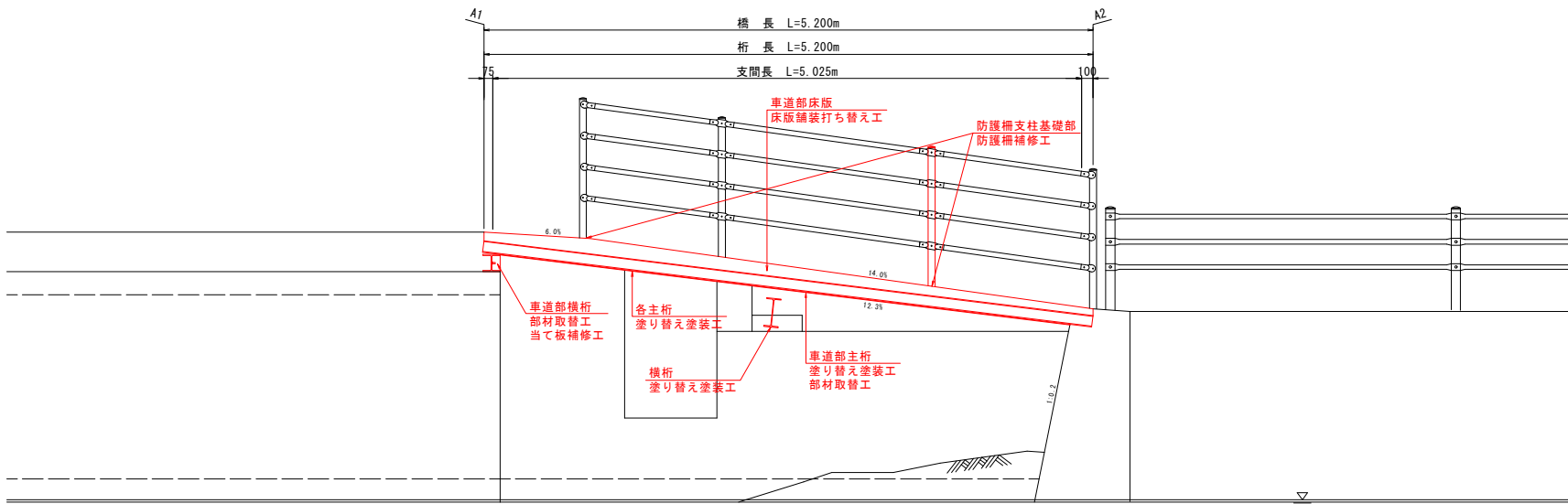
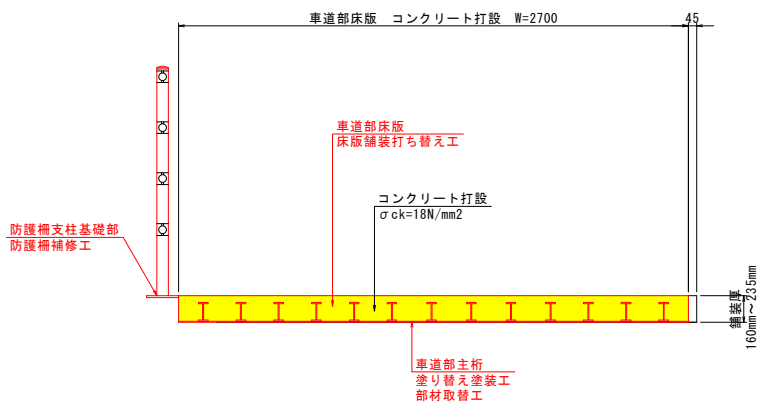


補修計画一般図

側面図 S=1:30

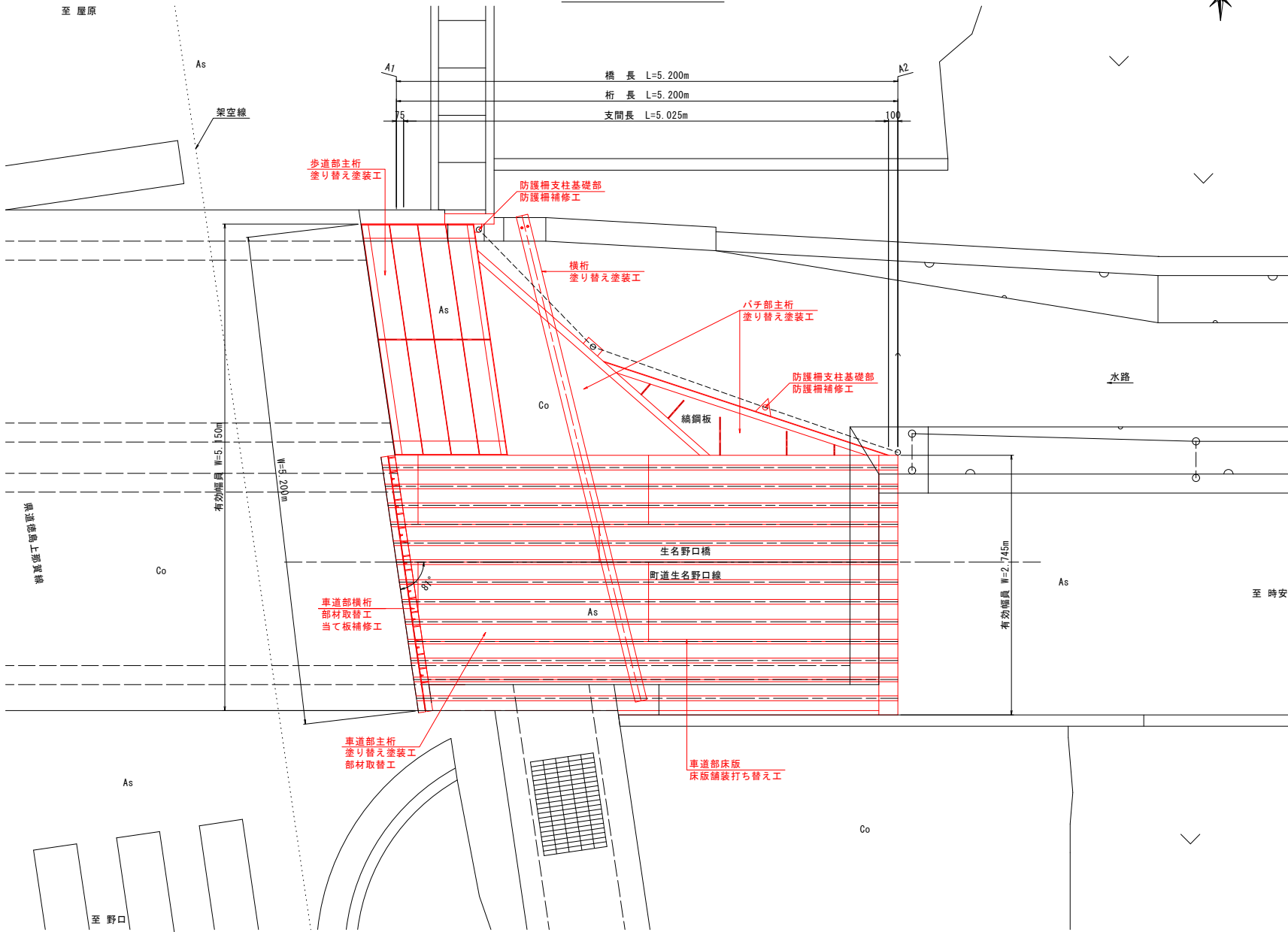


断面図 S=1:20



補修工法一覧			
部材	損傷状況	補修工法	備考
車道部主桁	腐食	塗り替え塗装工	常温垂鉛メッキ
	うき、断面欠損	床版舗装打ち替え工 部材取替工	コンクリート (σck=18N/mm2) 鋼板 (SS400)、現場すみ肉溶接工
歩道部主桁	腐食	塗り替え塗装工	常温垂鉛メッキ
バチ部主桁	腐食	塗り替え塗装工	常温垂鉛メッキ
車道部横桁 (橋台部受桁)	腐食	塗り替え塗装工	常温垂鉛メッキ
	断面欠損	部材取替工 当て板補修工	鋼板 (SS400)、現場すみ肉溶接工
防護柵支柱基礎部	亀裂	防護柵補修工	現場すみ肉溶接工

平面図 S=1:30



現橋諸元

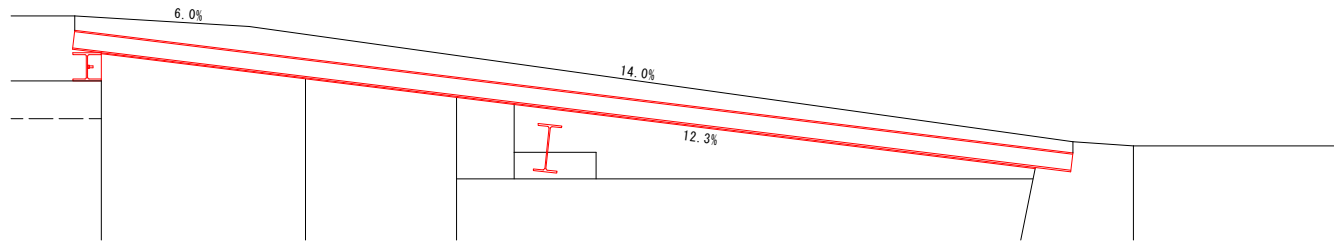
路 線 名		町道生名野口線
橋 名		生名野口橋
架 設 年 度		不明
自 動 車 荷 重		不明
上 部 工	形 式	単純鋼床版橋
	橋 長	5,200m
	桁 長	5,200m
	支 間 長	5,025m
	有 効 幅 員	2,745m～5,150m
	斜 角	θ=81° (A1橋台)
	縦 断 勾 配	6%～14%
下 部 工	横 断 勾 配	LEVEL
	舗 装	アスファルト舗装、コンクリート舗装、鋼鋼板
	軀 体 形 式	重力式橋台※推定
	基 礎 形 式	直接基礎※推定
	適 用 基 準	不明

実施設計図面

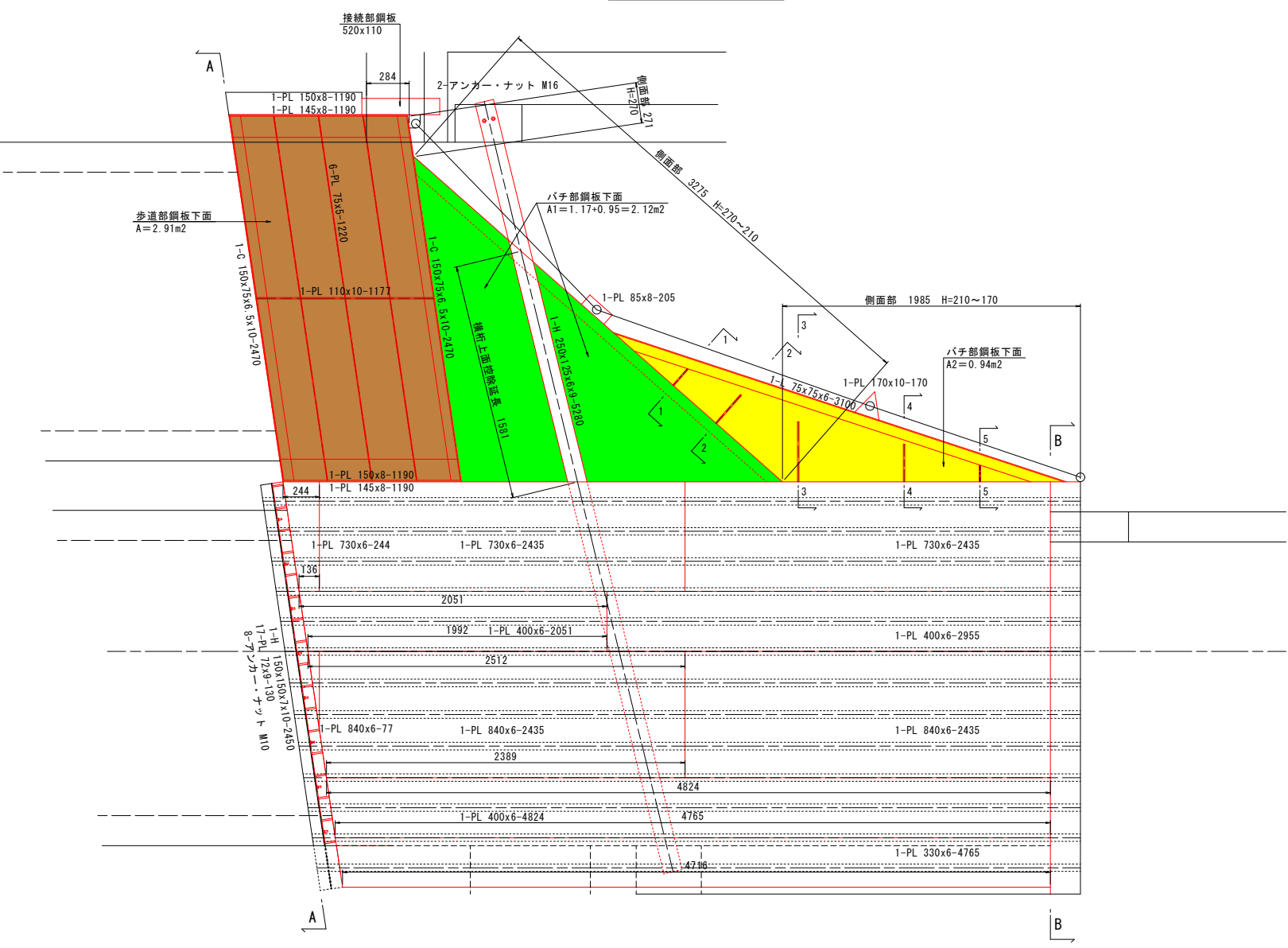
生名野口橋			
工事名	令和8年度生名野口橋橋梁修繕工事		
路線名等	町道生名野口線		
工事箇所	生名野口橋		
図面名	補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 6
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		

補修詳細図(1/3)
(塗り替え塗装面積図)

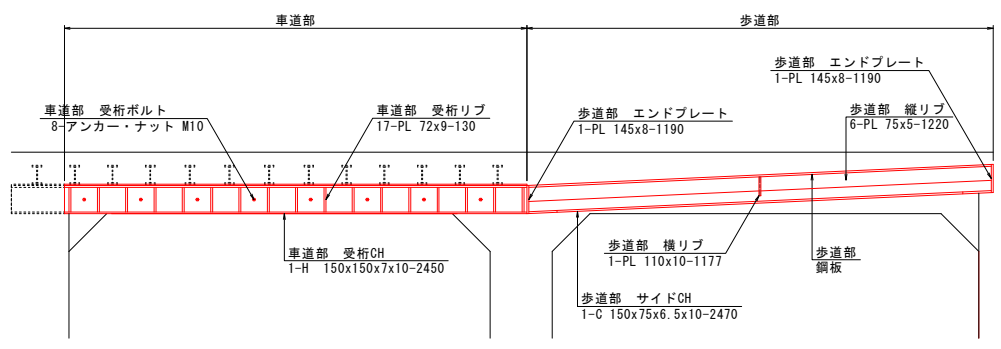
側面図 S=1:20



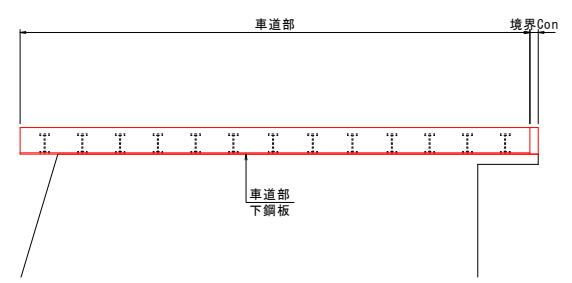
平面図 S=1:20



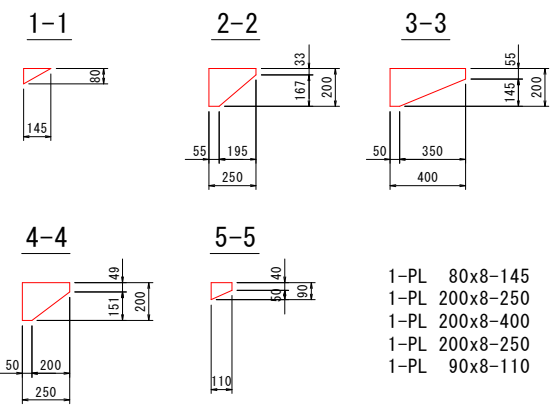
A-A断面 S=1:20



B-B断面 S=1:20



バチ部リブ形状 S=1:20



注記)
1. 塗り替え塗装の塗装系(塗装構成)は以下のとおりとする。
・素地調整: 2種ケレン
・下塗り: ローバル同等品 塗布量250g/m²
・上塗り: ローバル同等品 塗布量250g/m²
2. 素地調整は、防じん対策等を実施した上で施工を実施すること。
3. 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
4. 車道部の範囲となる中間部横桁上面部については、下鋼板および横桁上面ともに塗装面積を計上している。(隙間があるため)
5. 車道部のアスファルト舗装は撤去してコンクリートに打ち替える計画であるが、下鋼板の上側および主桁部材の塗装は行わないものとしている。
舗装撤去時には、下鋼板上面や主桁部材の発錆状況を確認し、錆処理の要否を発注者と協議を行って、必要であれば適切な処理を講じること。
6. 部材取替を行う車道部下鋼板、車道部受桁ウェブ・補剛材についても、本塗り替え塗装系にて塗装を行うものとする。

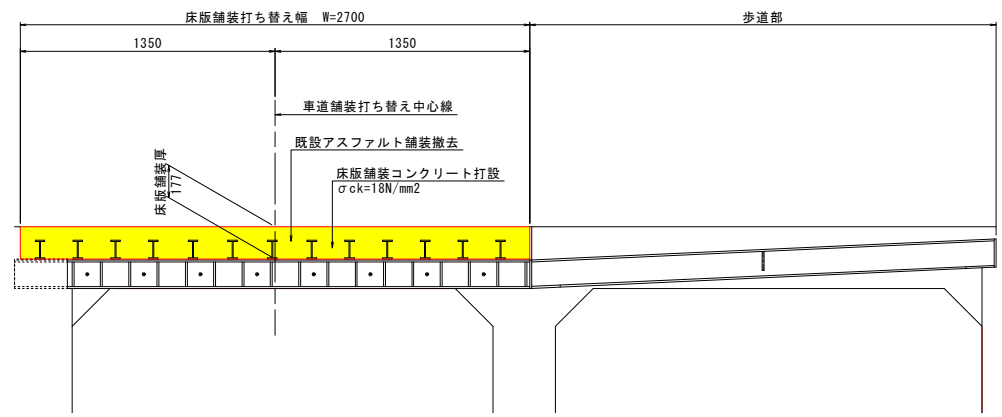
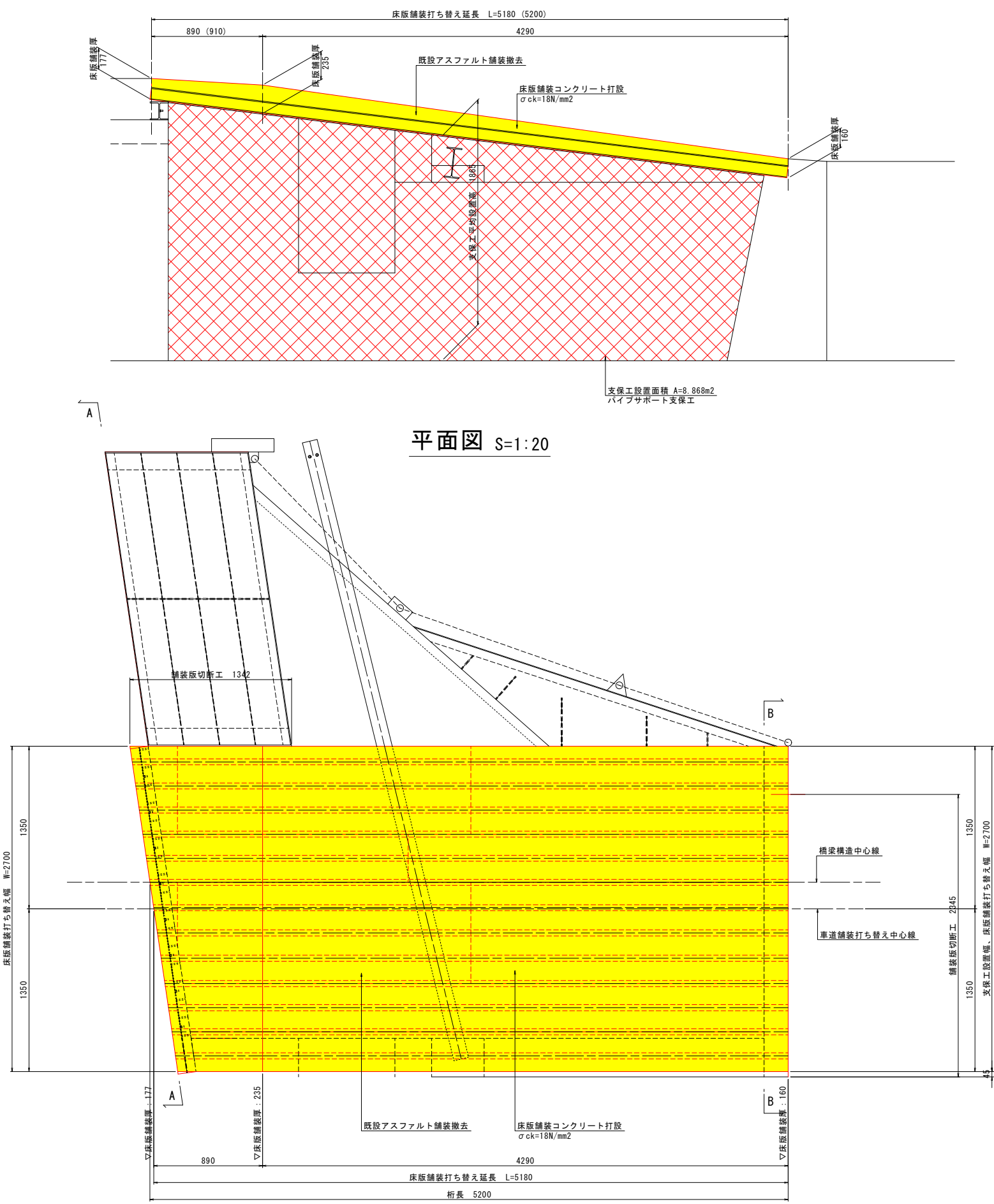
実施設計図面

生名野口橋			
工 事 名	令和 8 年度 生名野口橋橋梁修繕工事		
路線名等	町道 生名野口線		
工事箇所	生名野口橋		
図 面 名	補修詳細図 (1/3)		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 6
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

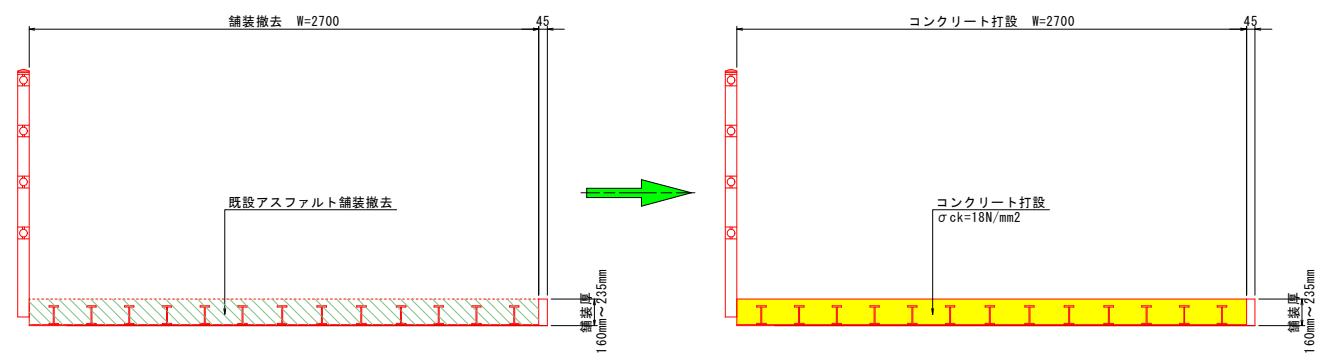
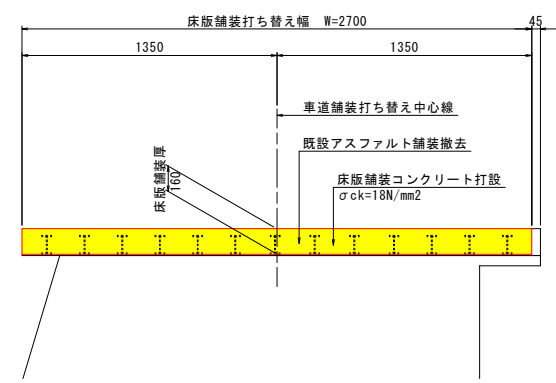
補修詳細図(2/3)
(床版舗装打ち替え工)

側面図 S=1:20

A-A断面 S=1:20



B-B断面 S=1:20



実施設計図面

生名野口橋			
工 事 名	令和8年度生名野口橋橋梁修繕工事		
路線名等	町道生名野口線		
工事箇所	生名野口橋		
図 面 名	補修詳細図(2/3)		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 6
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

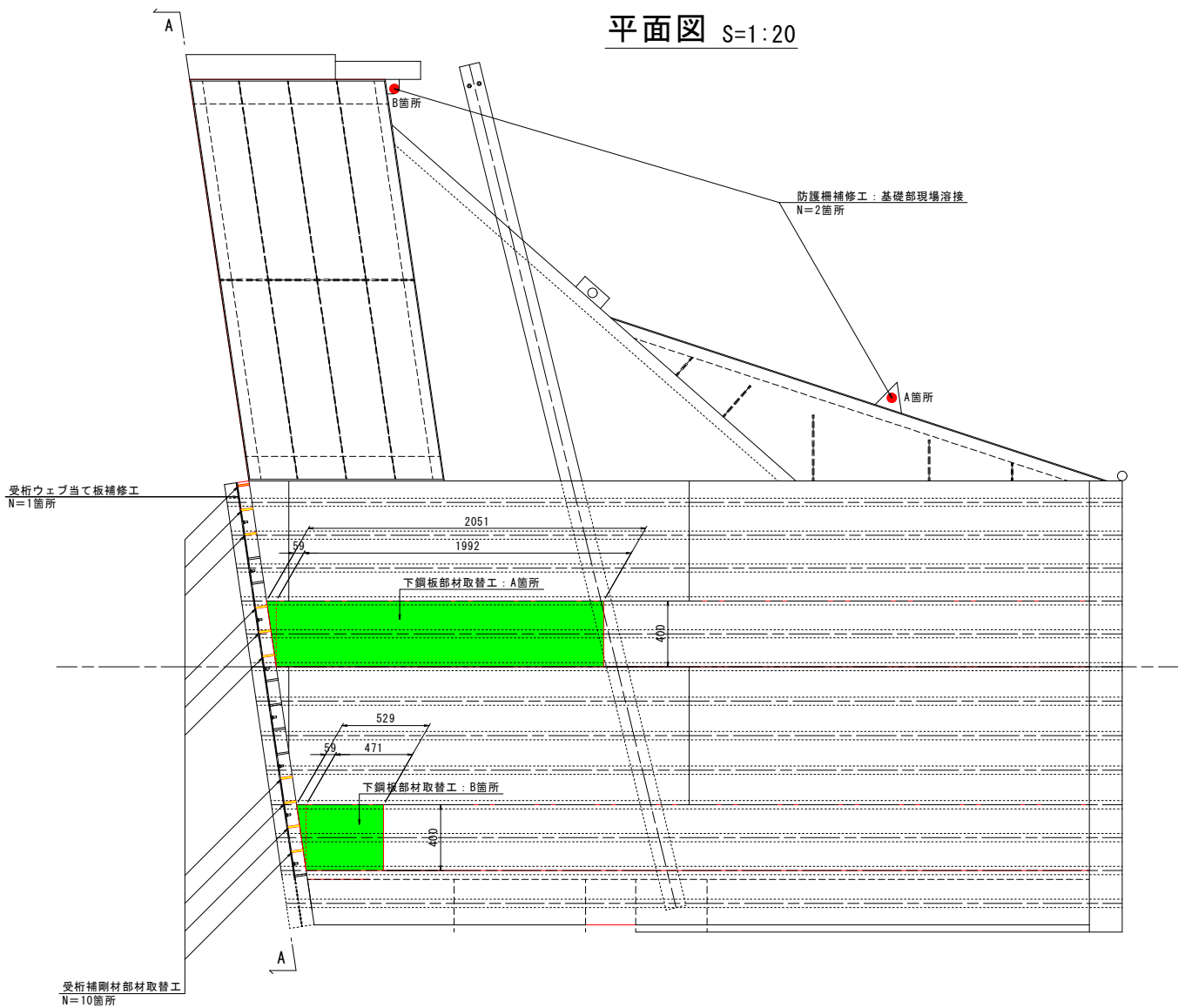
注記)

- 1 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
- 2 車道部のアスファルト舗装は撤去してコンクリートに打ち替える計画であるが、下銅板の上側および主桁部材の塗装は行わないものとしている。
舗装撤去時には、下銅板上面や主桁部材の発錆状況を確認し、錆処理の要否を発注者と協議を行って、必要であれば適切な処理を講じること。
- 3 本橋梁は水路（管理者：勝浦町）を渡河する位置に架設されている。本計画において、床版舗装打ち替え工の床版舗装コンクリート打設を行う際に、桁下に支保工を設置するものとする。そのため、工事着手に当たっては、必要に応じて水路管理者との協議を行い、書類の提出の必要性について確認すること。

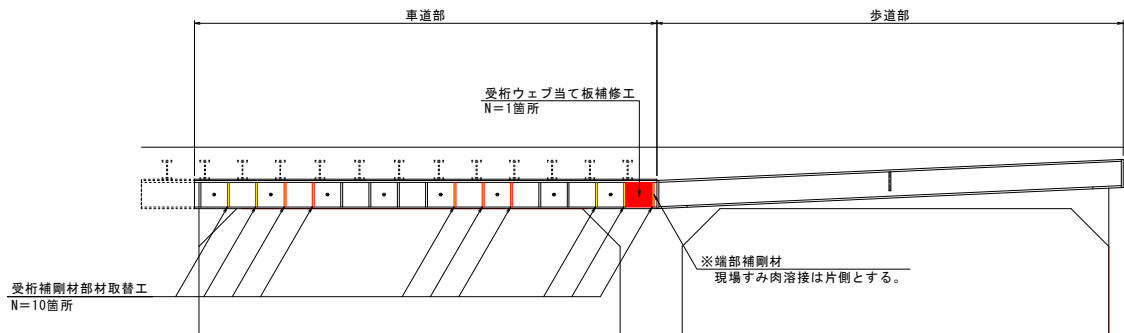
補修詳細図 (3/3)

(部材取替工、当て板補修工、防護柵補修工)

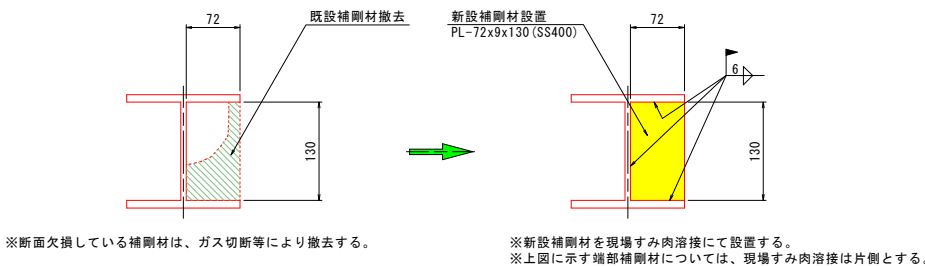
平面図 S=1:20



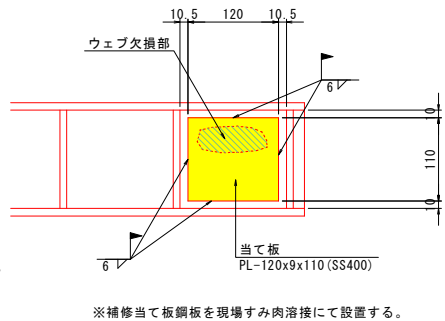
A-A断面 S=1:20



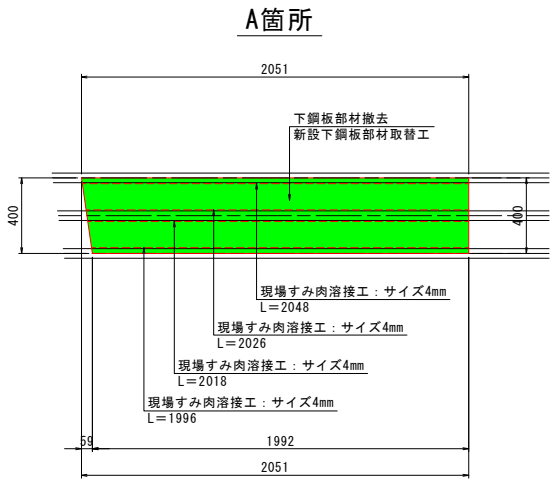
受桁補剛材部材取替工 S=1:5



受桁ウェブ当て板補修工 S=1:5

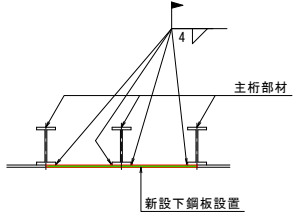


下鋼板部材取替工 S=1:20

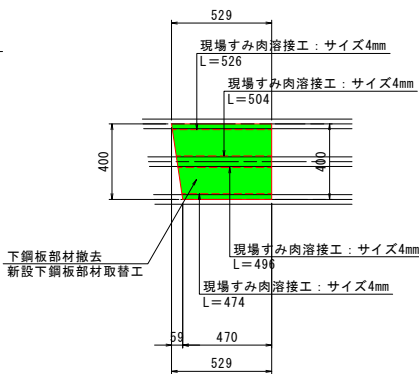


- A箇所
- 撤去下鋼板 400x6x2051 (SS400相当) (Net: 99%)
 - 新設下鋼板 400x6x2051 (SS400) (Net: 99%)

主桁部材との現場すみ肉溶接

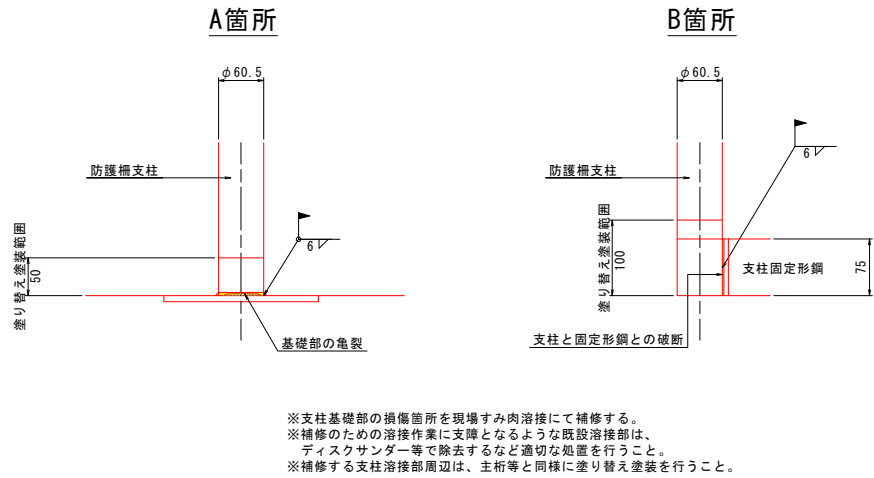


B箇所



- B箇所
- 撤去下鋼板 400x6x529 (SS400相当) (Net: 94%)
 - 新設下鋼板 400x6x529 (SS400) (Net: 94%)

防護柵補修工 S=1:5



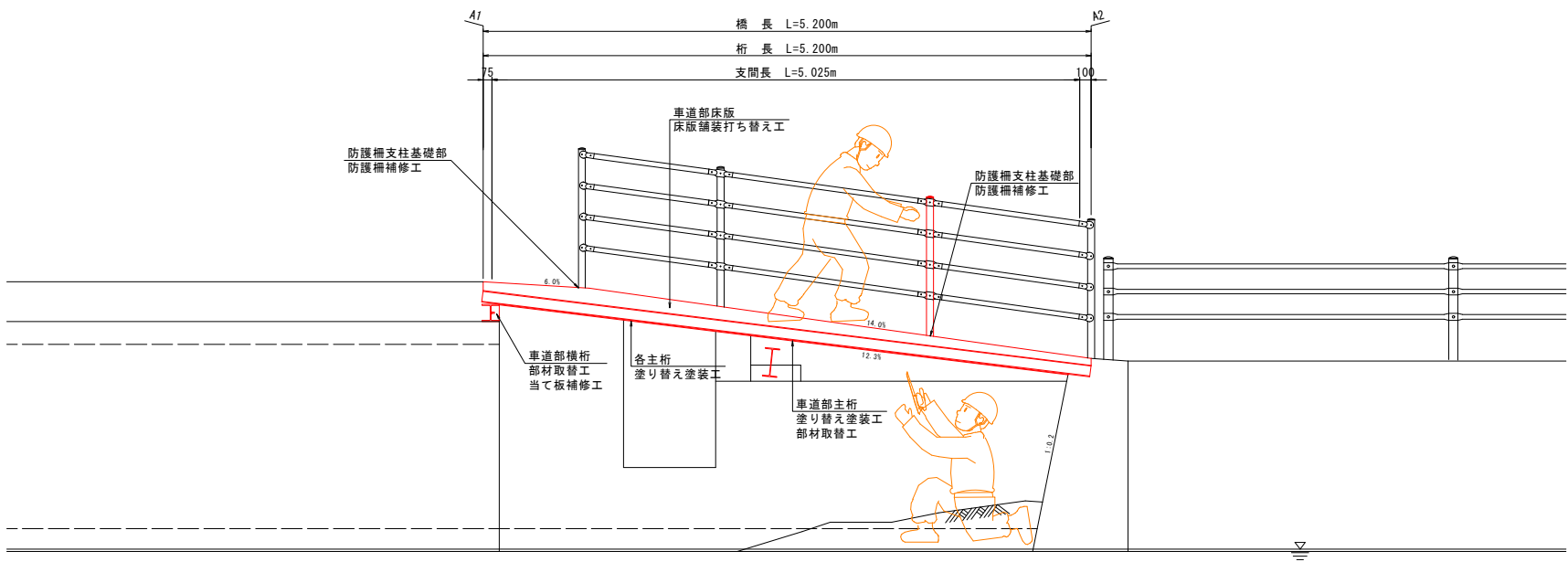
実施設計図面

生名野口橋			
工 事 名	令和 8 年度 生名野口橋 橋梁 修繕 工事		
路線名等	町道 生名野口 線		
工事箇所	生名野口 橋		
図 面 名	補修詳細図 (3/3)		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 6
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

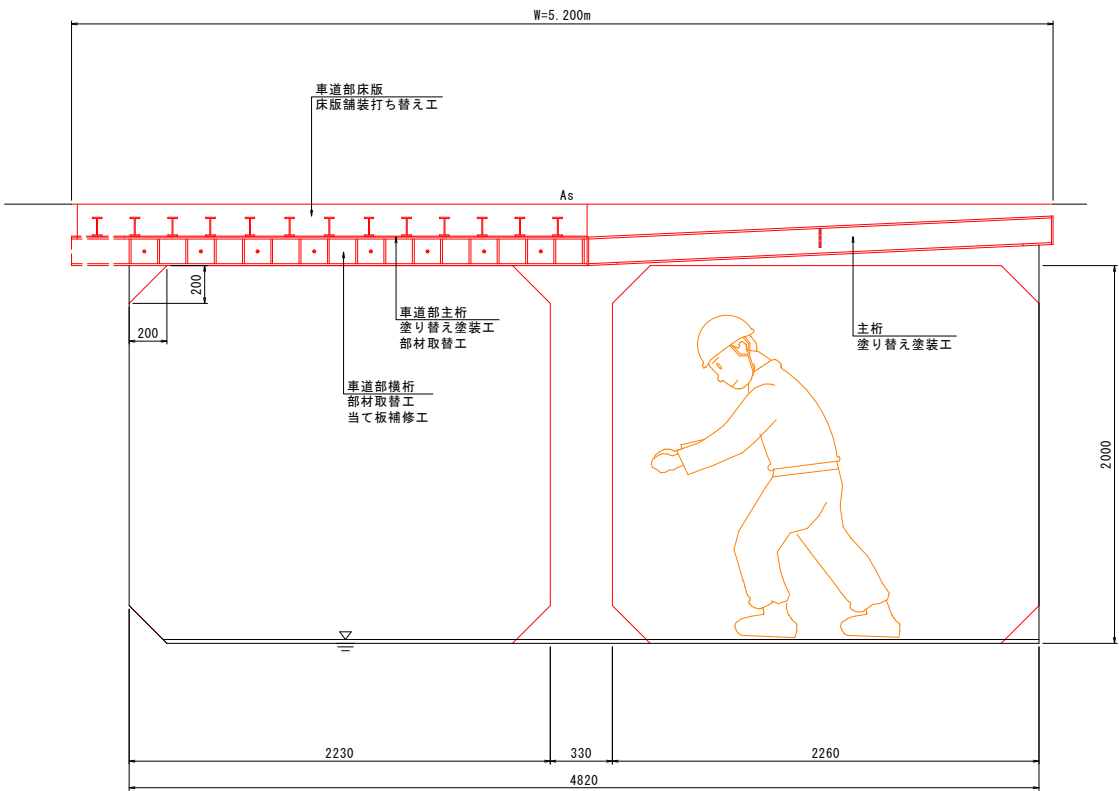
注記
1. 図中の寸法等は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては、現地状況を十分把握し、発注者の了承を得た上で施工を実施すること。
2. 補修のための溶接作業に支障となるような既設溶接部は、ディスクサンダー等で除去するなど適切な処置を行うこと。
3. 下鋼板設置時には、床版舗装コンクリート打設に備えて、既設下鋼板との接合部に、適切なシーリングを施すこと。

施工要領図(案)

側面図 S=1:30

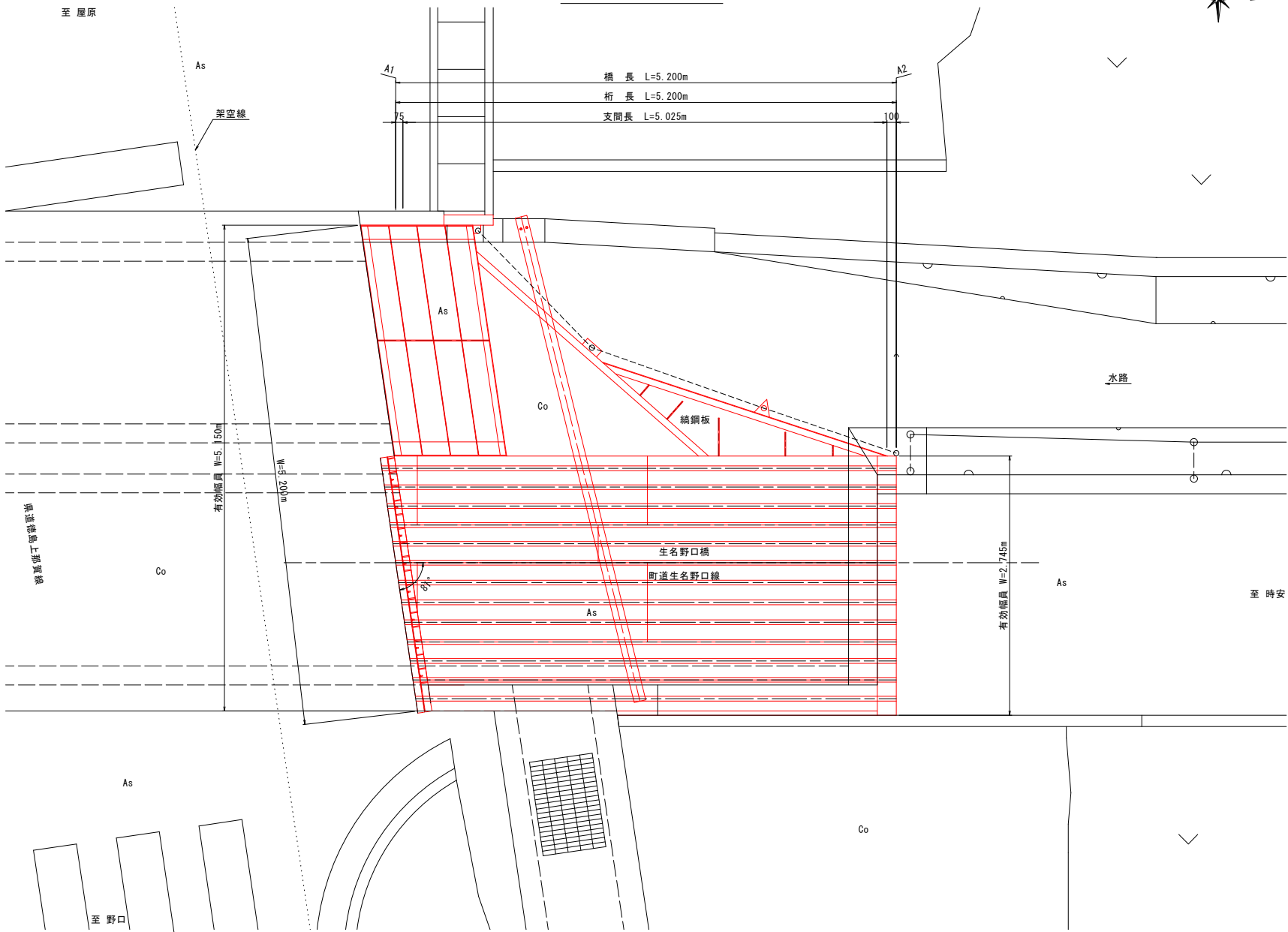


断面図 S=1:20



※桁下高が2.0m程度のため、補修工事は地上作業とする。
※施工期間は非出水期(11月～翌5月)を基本とする。
※常時流水が少なく、施工は好天時に行うことを基本とする。

平面図 S=1:30

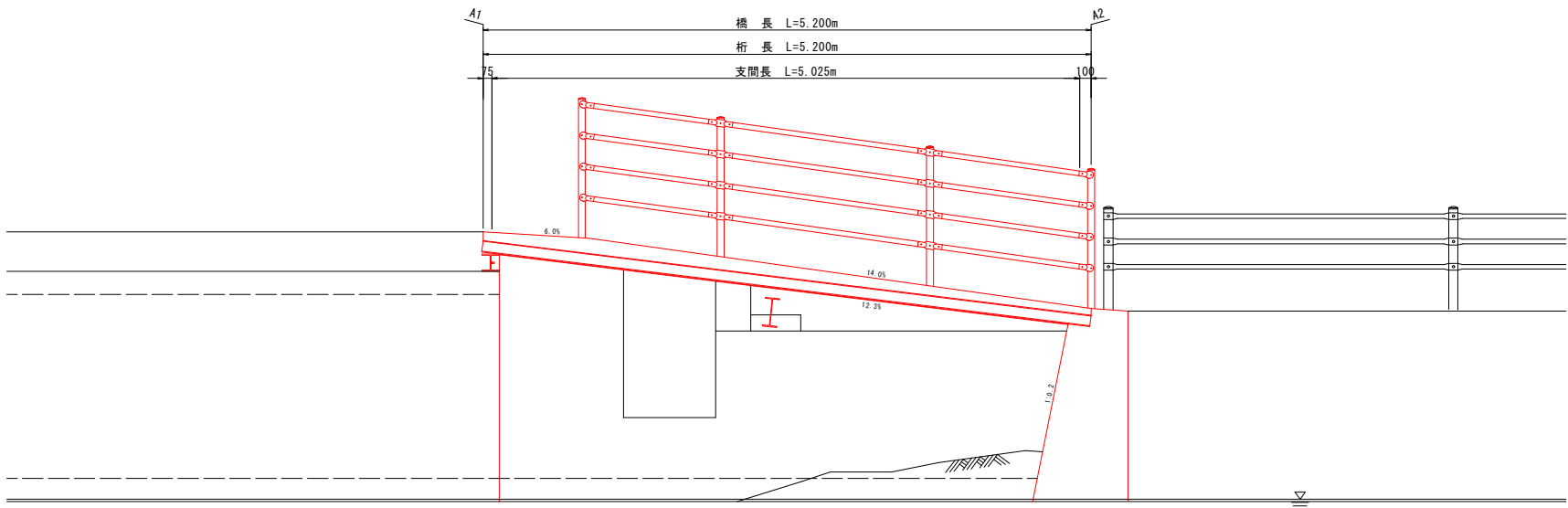


実施設計図面

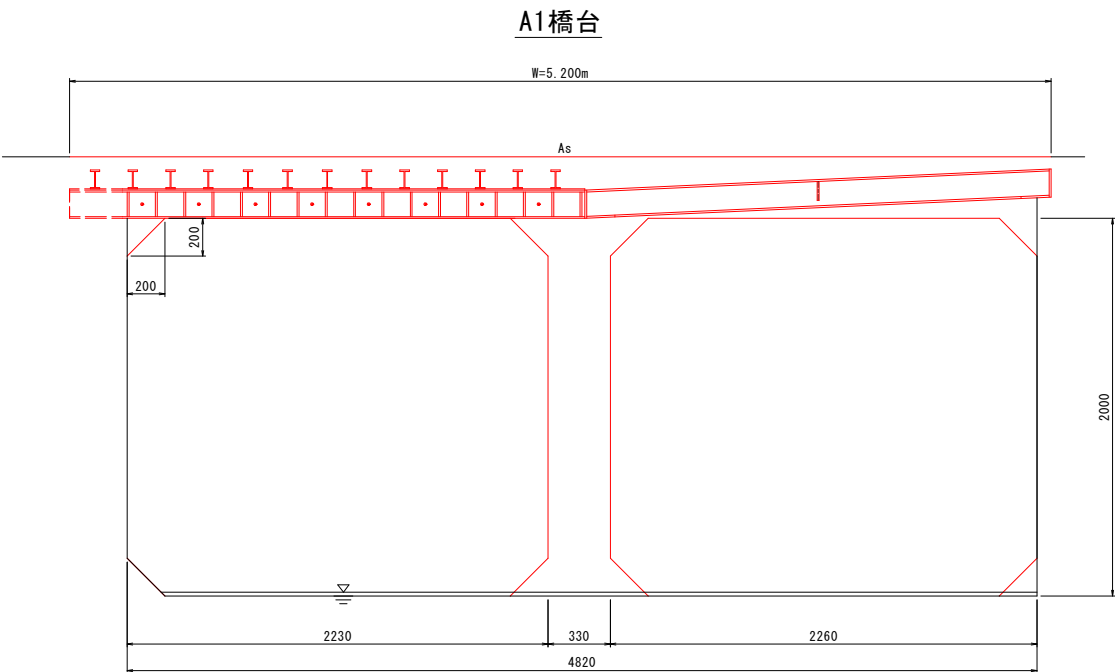
生名野口橋			
工 事 名	令和 8 年度生名野口橋橋梁修繕工事		
路線名等	町道生名野口線		
工事箇所	生名野口橋		
図 面 名	施工要領図(案)		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 6
会 社 名			
事業者名	勝浦町建設課		

現橋一般図

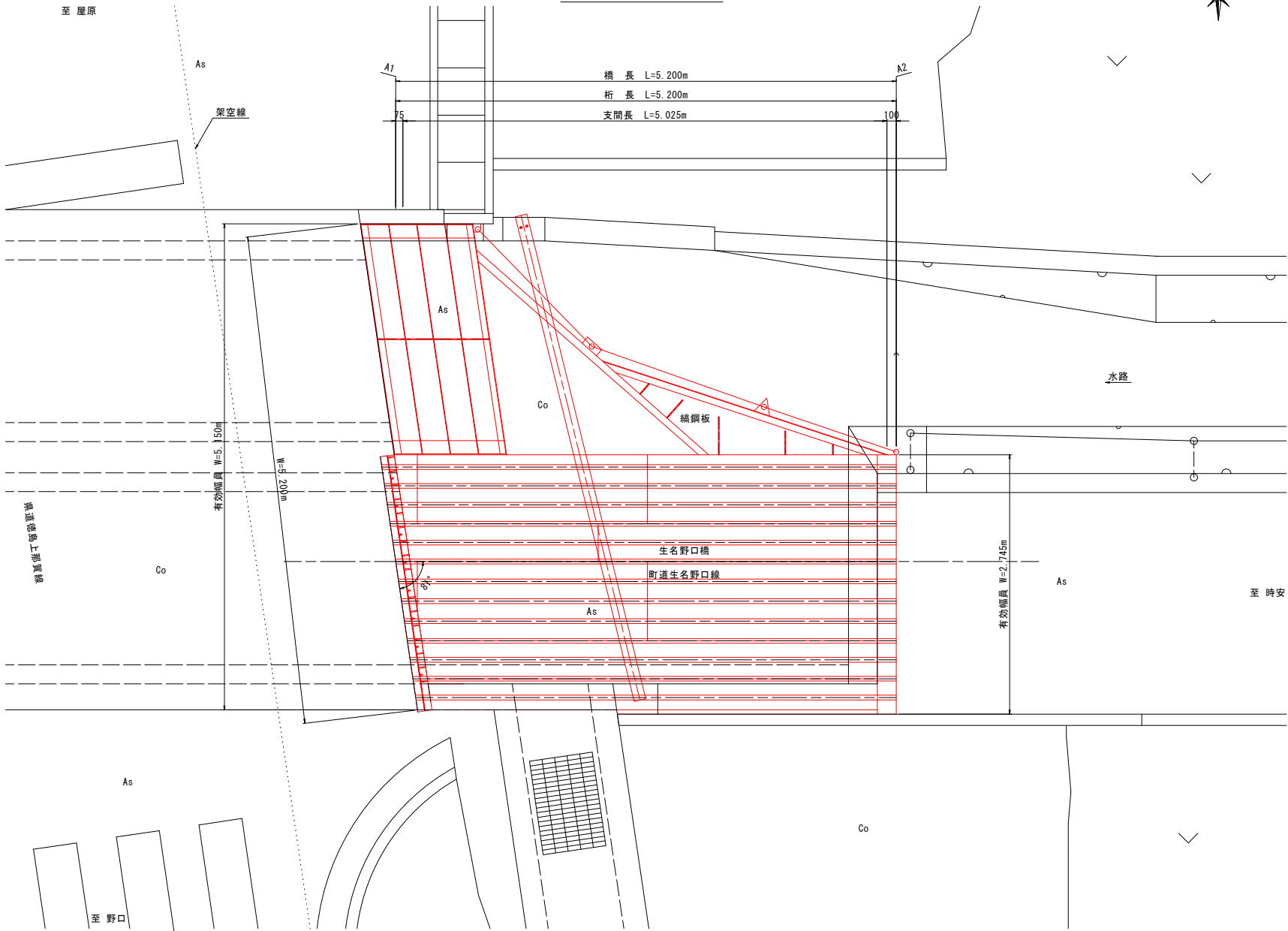
側面図 S=1:30



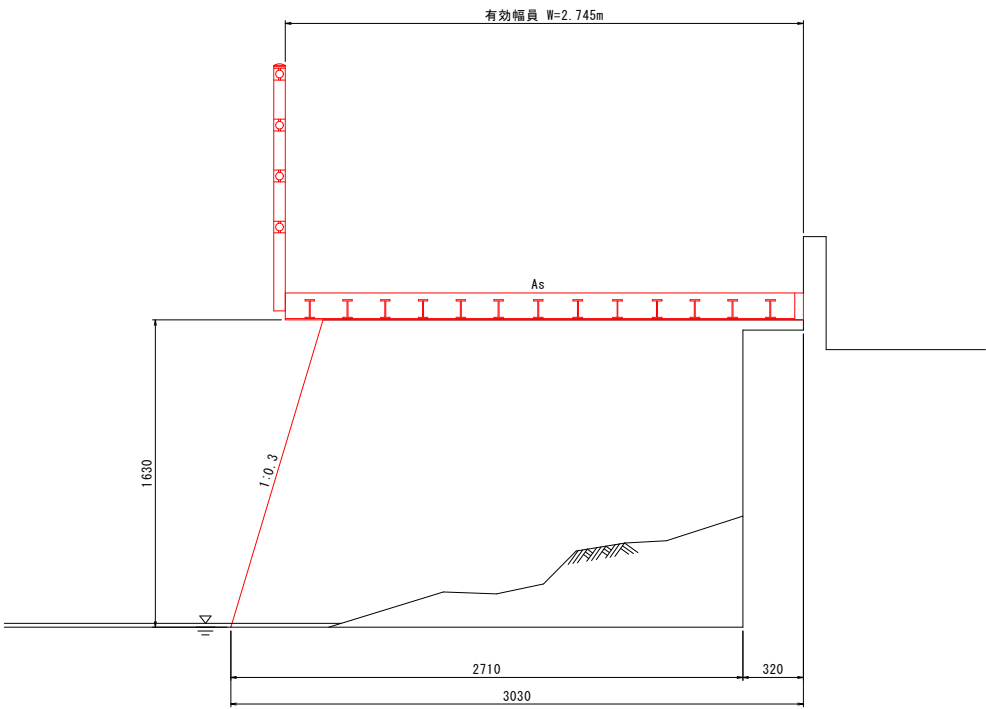
断面図 S=1:20



平面図 S=1:30



A2橋台



現橋諸元

路線名	町道生名野口線
橋名	生名野口橋
架設年度	不明
自動車荷重	不明
形式	単純鋼床版橋
橋長	5.200m
桁長	5.200m
支間長	5.025m
有効幅員	2.745m~5.150m
斜角	$\theta=81^\circ$ (A1橋台)
縦断勾配	6%~14%
横断勾配	LEVEL
舗装	アスファルト舗装、コンクリート舗装、鋼鋼板
下部工	躯体形式 ※推定
基礎形式	直接基礎 ※推定
適用基準	不明

実施設計図面

生名野口橋			
工事名	令和8年度生名野口橋橋梁修繕工事		
路線名等	町道生名野口線		
工事箇所	生名野口橋		
図面名	現橋一般図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 6
会社名			
事業者名	勝浦町建設課		